

おおたの未来づくり 単元計画シート

中富小

単元名	海苔の魅力再発見「大森発海苔レシピ」 ～海苔のふるさと大森～ (第5学年)	
内容	A_ものづくり	総時間数 15
目標	大森は海苔養殖発祥の地であり、海苔養殖地として250年もの歴史がある。地域の人にとって、海苔はふるさとのシンボルになっている。大森が海苔の町であることを再認識し、児童が海苔を活用したレシピを開発する。	
指導計画の概要		
学習過程	主な学習活動 (案)	外部連携・教材等
コンセプト ①	<ul style="list-style-type: none"> 海苔を活用した商品を開発している飲食店さんの思いを聞く。 海苔を活用したレシピ開発が課題であることを知る。 学習計画を考えて、ゴールへの見通しをもつ。 	【外部連携】 ・飲食店「昼飯屋」海苔カレーを提供している。 ・海苔を活用している商店 【教材】 ・聞き取りワークシート ・校内教職員
デザイン ①	<ul style="list-style-type: none"> 大森が海苔の町であることを知ってもらうために、海苔を活用しているレシピを開発する。 発表の仕方について、グループ担当教員からフィードバックを受ける。 夏休みに考えた料理をもとに、各グループ1つ料理を考える。 	【外部連携】 ・飲食店「昼飯屋」海苔カレーを提供している。 ・海苔を活用している商店 ・校内教職員 ・各グループの制作の支援を研究推進委員会5年生分科会の教員が行う。
クリエイション ①	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な発表の仕方について情報を収集して、発表に向けた準備を行う。 海苔を加えた給食の献立内容をグループ同士で発表し、改善していく。 考えた内容について、中間発表を行い、企業パートナーから調理法、食品との組み合わせ方などのフィードバックを受ける。 	【外部連携】 ・飲食店「昼飯屋」海苔カレーを提供している。 ・海苔を活用している商店 ・校内教職員
コンセプト ② デザイン ②	<ul style="list-style-type: none"> 中間発表の振り返りを行い、企業からのフィードバックなどを参考に発表内容をさらに改善していく。 不足している情報を集めたり、考えたりする。 	
クリエイション ②	<ul style="list-style-type: none"> 海苔を使ったレシピを給食で提供し、企業パートナーと試食する。 給食で提供した海苔を使った、レシピの投票を全校児童がする。 学習発表会で学習過程を発表する。 学習発表会を企業パートナーに参観してもらう。 学習発表会の振り返りを行う。 	【外部連携】 ・飲食店「昼飯屋」海苔カレーを提供している。 ・海苔を活用している商店 ・校内教職員
実社会への発信	<ul style="list-style-type: none"> 成果物を学校や企業パートナーのホームページや店舗・地域で公開する。 	【外部連携】 ・飲食店「昼飯屋」海苔カレーを提供している。 ・海苔を活用している商店 ・地域
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数		
教科名等	本単元で補完する内容	授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 	4
社会	<ul style="list-style-type: none"> 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあることを捉え考察すること。 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色などに気づくこと。 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き考えること。 	1
算数	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。 	4
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 調理に関心を持ち、必要な材料の分量や手順を考えて、調理計画を立てること。 	2
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。 	4